

Compact Cool キット 取扱説明書

製品番号	07-07-0286 (3-FIN)
	07-07-0287 (4-FIN)

適応車種	MAGNA50 (AC13-1000010 ~)
適応条件	弊社製ダイカストスペシャルクラッチカバー装着車

取り付けマウント位置：フレーム下
オイル取り出し位置：スペシャルクラッチカバー
ホース：ラバーホース

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

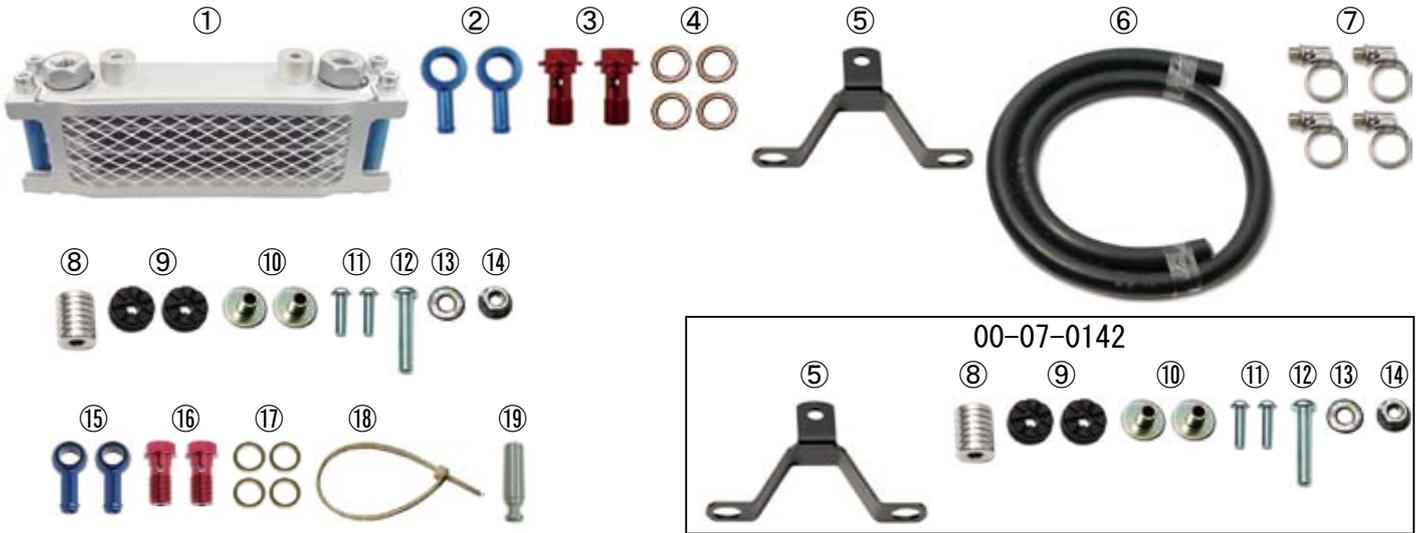
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- オイルホースは走行の邪魔にならないように、またはマフラーと接触しないように取り回して下さい。（オイルホースが抜けたり、溶けたりするとオイル漏れによる出火やエンジントラブルの原因となります。）
- エンジン始動前には必ずオイル量を点検して下さい。オイル量が足りない場合はオイルを足して下さい。また、説明書、サービスマニュアル指定の交換時期、距離に達している場合はオイルを交換して下さい。

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	コンパクトコア (3-FIN)	1	00-07-0124
	コンパクトコア (4-FIN)		00-07-0104
2	バンジョー 14mm	2	00-07-0127
3	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0120 (シーリングワッシャ付)
4	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
5	オイルクーラスター	1	15660-GBZ-T00
6	オイルホース 1500mm	1	00-07-0012 (2000mm)
7	ホースクランプ	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
8	オイルクーラスターカラー	1	15670-GBZ-T00
9	クッションラバー	2	00-00-0099 (4ヶ入り)
10	カラー	2	00-00-0476
11	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20	2	00-00-0084 (5ヶ入り)
12	ボタンヘッドソケットスクリュー 8x40	1	00-00-0453 (4ヶ入り)
13	プレーンワッシャ 8mm	1	00-00-0076 (10ヶ入り)
14	フランジナット 8mm	1	00-00-0275 (6ヶ入り)
15	バンジョー (ストレート)	2	15660-000-T01
16	バンジョーボルト M10x1.25	2	00-07-0122 (シーリングワッシャ付)
17	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0106 (10ヶ入り)
18	結束バンド 200mm	1	00-00-0179 (10ヶ入り)
19	オイルホールプラグ	1	00-02-0391

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

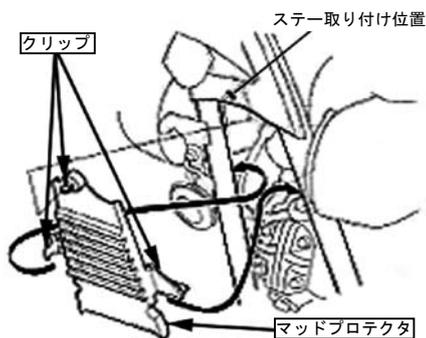
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

オイルクーラーキット使用上のご注意

クラッチカバーにオイルホースを接続した場合、必ず付属のオイルホールプラグ又は、別売のサーモスタットユニット (02-01-5052) を取り付けして下さい。

何れも取り付けが無かった場合、オイルクーラーにエンジンオイルが循環しませんのでご注意ください。

- 平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。
- マッドプロテクタをフレームより取り外します。(マッドプロテクタは使用しませんので保管して下さい。)

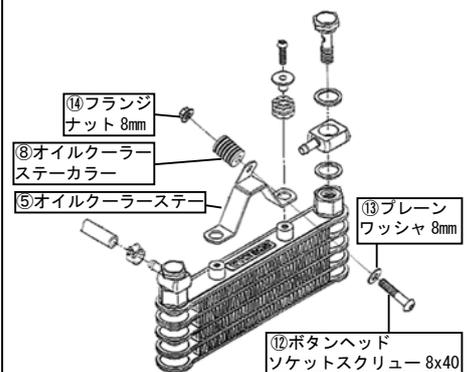


- ⑤オイルクーラスターに⑨クッションラバーを取り付け、⑩カラーを差し込みます。
- ⑪ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を使用し、⑤オイルクーラスターを①コンパクトコア (以下オイルクーラー) に取り付け規定トルクで締め付けます。

▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)

- マッドプロテクタのクリップが入っていた穴に⑤オイルクーラスターと⑧オイルクーラーステーカラーを間に入れて取り付け、⑫ボタンヘッドソケットスクリュー 8x40 を規定トルクで締め付けます。

▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク: 20N・m (2.0kgf・m)



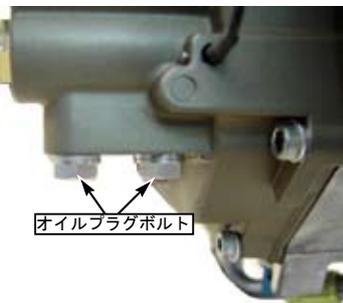
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○②バンジョー 14mm を④アルミシーリングワッシャ 14mm 2枚で挟み、オイルクーラーに
 ③バンジョーボルト M12x1.0 で仮締めします。
 ※アルミシーリングワッシャが凹部から外れた状態で締め付けた場合、オイル漏れの原因になります。

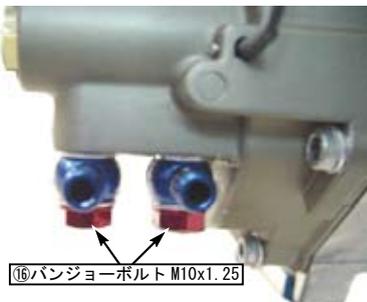
○クラッチカバーよりサーモスタットホールキャップを取り外し、ダイカストクラッチカバー付属のオイルホールプラグを差し込みます。
 サーモスタットホールキャップを規定トルクで締め付けます。
 ※詳細は、ダイカストクラッチカバー取扱説明書をご確認下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 サーモスタットホールキャップ
 トルク：13N・m (1.3kgf・m)

○クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、写真と同位置についているオイルプラグボルト 2本を取り外します。



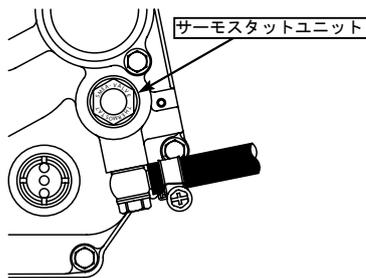
○⑬バンジョー（ストレート）を⑰アルミシーリングワッシャ 10mm 2枚で挟み、写真を参考にし、⑱バンジョーボルト M10x1.25 でクラッチカバーに仮締めします。



○⑥オイルホース 1500mm の取り回しを決め、
 ③バンジョーボルト M12x1.0、⑬バンジョー（ストレート）に⑥オイルホースを取り付け
 ⑦ホースクランプにて締め付けます。
 反対側も同様の作業を行い、⑦ホースクランプにて締め付けます。
 ○それぞれのバンジョーの向きを調節し、バンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。
 ※バンジョーボルト M12x1.0 の締め付けは、オイルクーラーヘッダー（6角部分）に必ずスパナ等を掛けた状態で行って下さい。

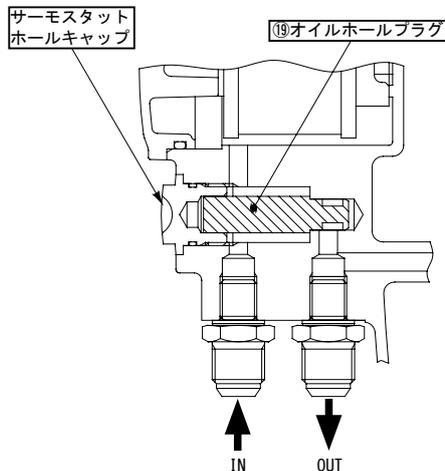
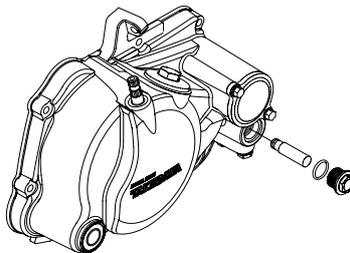
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 バンジョーボルト M12x1.0
 トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)
 バンジョーボルト M10x1.25
 トルク：14N・m (1.4kgf・m)

○（サーモスタットユニットを取り付ける場合）
 ホールキャップを取り外し、サーモスタットユニットを取り付けます。
 ※サーモスタットユニット取扱説明書をご確認下さい。



○（サーモスタットユニットを取り付けない場合）
 サーモスタットホールキャップを取り外し、付属の⑲オイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。
 サーモスタットホールキャップの O リングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 ホールキャップ
 トルク：13N・m (1.3kgf・m)



○エンジンオイルを 3-FIN:40cc/4-FIN:60cc 程度追加し、エンジンを始動します。
 各部分からのオイル漏れの有無を確認し終わったらエンジンを止め、約1分後にクラッチケースカバーのオイルポッドウインドでオイルの量を確認し、少ない場合は必ず補充して下さい。

▲注意：クラッチカバーからクーラーホースを取り出さない場合（クラッチカバー購入時のプラグボルトが取り付けられている状態）は、必ずオイルホールプラグ若しくはサーモスタットユニットを取り外して下さい。何かを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンが破損します。

※クラッチカバーにプラグボルトを取り付けた場合、オイルホールプラグ若しくはサーモスタットユニットは取り付けしないで下さい。（下記の様な状況は絶対行わないで下さい。）

